

1 学校運営の中期目標

現状と課題

ここ数年、自尊感情が低いこと、社会事象に対する関心が高くないこと、家庭での学習習慣が身についていないことが本校の課題として挙げられてきた。そのため本校の教育内容を見直し、職業体験学習、地域と合同での防災学習、発達段階に応じた性教育、読み物教材を中心とした道徳授業の推進、現代の世界情勢を考える人権学習など、生徒の体験を重視した取り組みの実施を図ってきた。そのため新しく追加したり、従来の取り組み内容を見直したり、工夫改善を行ってきた。また、学力の向上についても、生徒自らが考える授業の充実や自主学習プリントの作成などに取り組んできた。その成果については生徒アンケート等で検証を行い、分析を行っているが、少しづつであるけれども、その成果が見られてきている。今後も現在行っている取り組み内容を見直し、工夫改善を重ねることが大切である。

さらに、教職員研修を充実させ、いじめ・不登校の克服に向けての取り組みを推進する。単なる問題の事象だけでなく、その背景や生徒の内面を深く理解しながら、生徒自らが内包する問題に気付き、克服するための力の育成を支援できる教職員体制づくりに努めることが必要である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を平成28年度より15%向上させる。
- 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 平成32年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を平成29年度からの4年間で10%向上させる。
- 平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答数が全国平均の7割以上の生徒の割合を平成28年度より10%向上させる。
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を平成28年度より向上させる。
- 平成32年度末の生徒アンケートにおける「学校で学習したことから、いろいろ調べてみたくなる」と答える生徒の割合を40%以上にする。
- 平成32年度3学期における授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を毎年減少させ、平成33年度調査において10パーセント以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
- 平成 30 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 90% 以上にする。
- 平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 平成 30 年度末校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を平成 29 年度より 15% 向上させる。
- 平成 30 年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、前年度より減少させる。
- 平成 30 年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を 50% 以上にする。
- 平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を 70% 以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 平成 30 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成 30 年度の中学校チャレンジテストにおける得点が市平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント減少させる。
- 平成 30 年度の中学校チャレンジテストにおける得点が市平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント増加させる。
- 平成 30 年度校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点が男女とも大阪市平均を上回る。

学校園の年度目標

- 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答数が全国平均の 7 割以上の生徒の割合を平成 29 年度より 10% 向上させる。
- 平成 30 年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を平成 29 年度より向上させる。
- 平成 30 年度末の生徒アンケートにおける「学校で学習したことから、いろいろ調べてみたくなる」と答える生徒の割合を 40% 以上にする。
- 平成 30 年度 3 学期における授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を全体の 70% 以上にする。
- 平成 30 年全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を前年度より減少させる。

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立淀川中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○平成30年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。 ○平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 ○平成30年度末校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を平成29年度より15%向上させる。 ○平成30年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を、前年度より減少させる。 ○平成30年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を50%以上にする。 ○平成30年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」と答える保護者の割合を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>あいさつ運動や遅刻をなくし、規則正しい学校生活を促進するための取り組みを行う。</p> <p>指標 各学年1名以上の教員、その他地域の皆さんの協力を得、登校指導を充実させる。また、教員のスキルの向上を目的とした生活指導、特別支援教育に関する研修を年間、複数回実施する。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>規範意識や感謝の心、自他を尊重する心を育てるための取り組みを行う。</p> <p>指標 各学級とも年間35時間の道徳授業を実施する。また各学年とも発達段階に応じた性教育・人権学習を実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>自らの将来について考える心を育てるため、キャリア教育を推進し、充実させる。</p> <p>指標 1年生で職業講話、2年生で職業体験、3年生で高校体験授業を実施する。</p>	

取組内容④【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

学校の情報を積極的に公開し、地域・保護者の信頼を得られるように努め、密接な協力関係を構築する。

指標 週1回以上、ホームページを更新する。また校長室だより、学年だより、学級だより、保健だよりを定期的に発行する。地域と合同で防災学習を実施する。

-
-
-
-

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立淀川中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○平成30年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○平成30年度の中学校チャレンジテストにおける得点が市平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。</p> <p>○平成30年度の中学校チャレンジテストにおける得点が市平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント増加させる。</p> <p>○平成30年度校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点が男女とも大阪市平均を上回る。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成30年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答数が全国平均の7割以上の生徒の割合を平成29年度より10%向上させる。</p> <p>○平成30年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を平成29年度より向上させる。</p> <p>○平成30年度末の生徒アンケートにおける「学校で学習したことから、いろいろ調べてみたくなる」と答える生徒の割合を40%以上にする。</p> <p>○平成30年度3学期における授業アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。</p> <p>○平成30年全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について「食べていない（あまり食べていない）」と答えた生徒の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <p>生徒の学習に対する意欲・関心を育て、自主的、意欲的に取り組もうとする態度を育てる。</p> <p>指標 学ぶことの楽しさを実感させる授業を創造するため、I C Tの効果的な活用やアクティブラーニングを取り入れた授業を推進する。年間3回全教員による授業研究を実施し、その他授業公開週間を設け、相互授業参観を実施する。</p>	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】	

<p>本校生徒の課題である家庭学習習慣を定着させるための取り組みを推進する。</p>	
<p>指標 各教科授業で復習を中心とした家庭学習のための課題を与える。また学校元気アップ支援員と連携し、生徒が自由に活用するための自主学習プリントを作成する。</p>	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 自らの健康に关心を持ち、体力の向上に対する意欲を育てるための取り組みを推進する。</p>	
<p>指標 保健体育授業の充実、さらに生徒による保健委員会を活発化させ、その活動を中心とし、生徒の意識の向上を図る。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式 3)

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立淀川中学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：
年度目標：
•
•
•
•

3 今後の学校園の運営についての意見

--